

# 1. 事後評価結果の概要

## (1) 目的

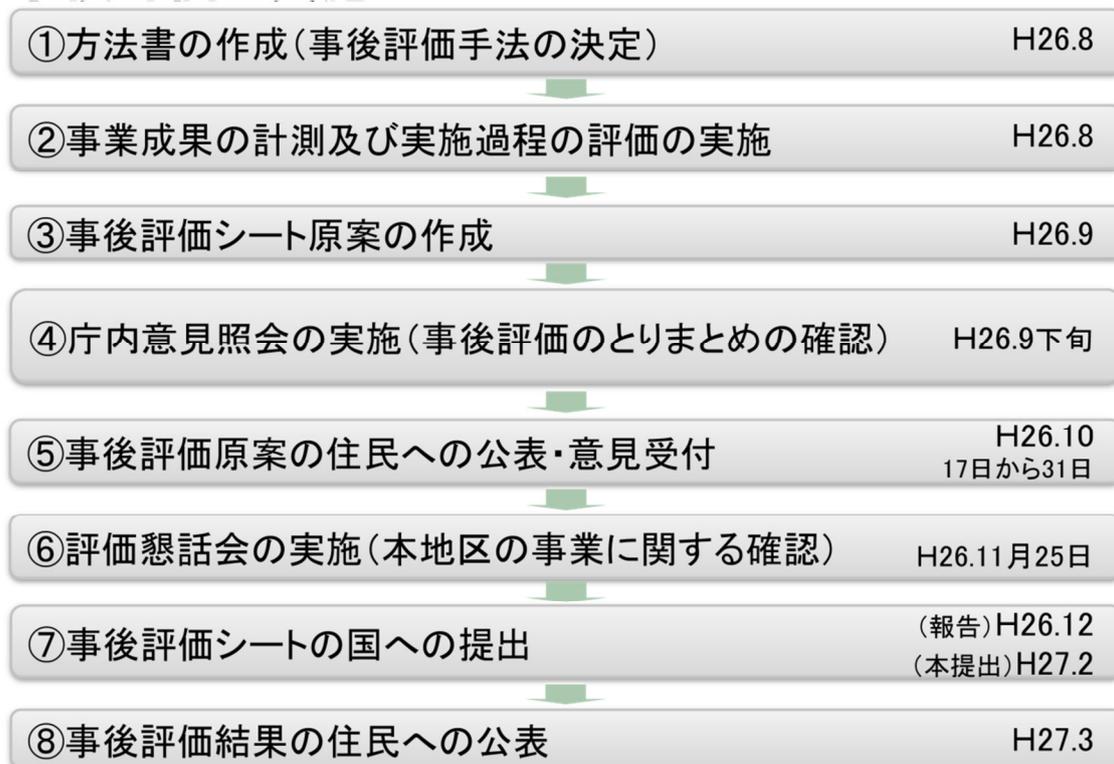
都市再生整備計画事業は、事業終了後に市町村が設定した目標に対する事業効果を検証する事後評価を重視している。そのため、交付期間終了時に自治体は、都市再生整備計画に記載した目標の達成状況を検証し、その要因分析を行うとともに、今後のまちづくり方策等の検討を行う。その後、自治体自ら実施した事後評価結果は、意見聴取のための住民公表や、第三者委員会による妥当性の確認を行い、最終的に国へ提出及び公表を行う。

本業務は、平成 21～25 年度を計画期間とする「大網東地区都市再生整備計画」の事後評価作業を行い、交付金のもたらした成果等を客観的に診断して、今後のまちづくりを適正な方向で実施すること、及び成果を住民にわかりやすく説明することを目的とする。

また、「大網白里市社会資本整備総合交付金評価懇話会設置要領」に基づき、第三者による事後評価の手続きや事後評価結果の妥当性の確認を行う。

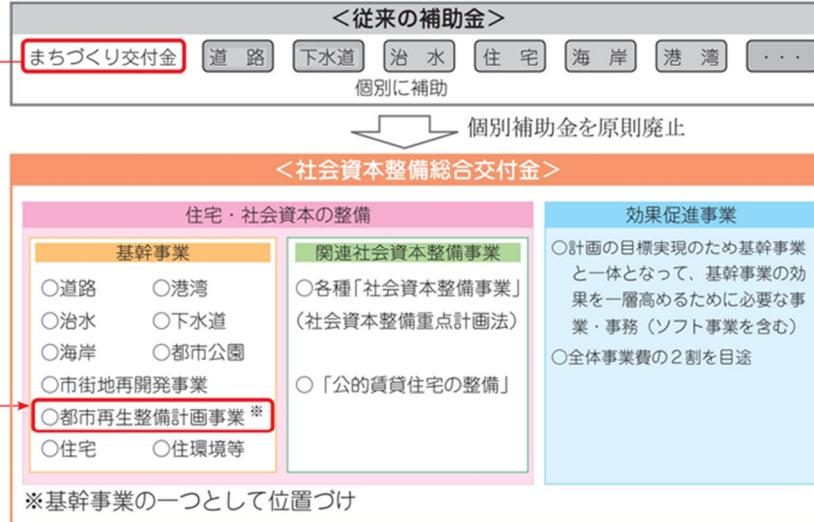
## (2) 事後評価の作業スケジュール

都市再生整備計画事業は、PDCA サイクルにより実施され、事後評価はその“Check”の段階にあたる。事後評価の流れは、以下に示す通りである。



### (3) 事後評価の考え方

## 社会資本整備総合交付金と都市再生整備計画事業

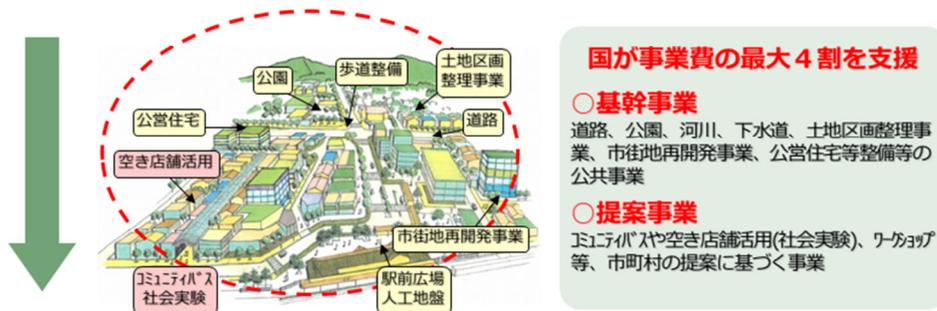


- 都市再生整備計画事業は、平成16年度より、「まちづくり交付金」として国土交通省が創設しました。
- 平成22年度より、「まちづくり交付金」は「社会資本整備総合交付金」に統合され、当交付金の基幹事業に「都市再生整備計画事業」として位置づけられることとなりました。

## 都市再生整備計画事業とは

各種補助金や交付金が統合された社会資本整備総合交付金のメニューの一つである都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金）は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あるまちづくりを国が支援する、市町村自らが作成した都市再生整備計画に基づく事業。

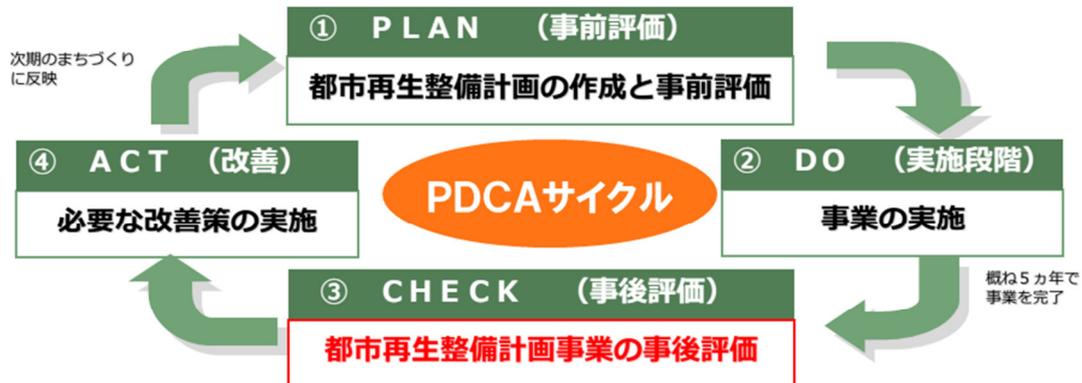
事業の特色として道路、施設やソフト事業など、従来は各所管より補助を受けていたものが、上記目的を達成する事業を一体的に計画実施することなどがある。



総合的なまちづくり：地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化

※容易に交付金を受けられることが出来る反面、事業の完了後の成果及び効果の検証に重点が置かれる。 → **事後評価の重視**

## まちづくりの流れ【PDCAサイクル】



### ■CHECK 事後評価の目的

事後評価とは、交付金がもたらした成果等を客観的に診断し、成否の要因を分析して、今後のまちづくりを適切な方向に導くとともに、これらを住民に分かりやすく説明（公表）することを目的とする。

### ■事後評価の内容

- ・事業の成果及び実施過程の検証 …数値目標の達成度等について検証
- ・今後のまちづくり方策の検討 …今後のまちづくり方策、目標を達成するための改善措置を作成

## 事後評価とは

### 1 事後評価の目的

交付金がもたらした事業成果等を客観的に診断し、効果発現の要因を分析して、今後のまちづくりを適切な方向に導くとともに、これらを住民にわかりやすく説明することを目的とする。

### 2 事後評価作業の主な実施内容

- ①方法書の作成（事後評価の円滑な実施のための方法書）
- ②事業効果の検証（指標の計測）
- ③事後評価シートの作成  
（事業の実施状況、事業効果の検証、まちづくりの課題の変化や今後のまちづくり方策等を検証）

## 評価懇話会の目的

都市再生整備事業における事後評価の主体は、市町村であるため、評価懇話会においては、

- ① **市町村による事後評価作業が適切に遂行されたことを、中立・公平な立場で確認していただき意見を求めること**
- ② **今後のまちづくり方策等について意見を求めること**

を目的としています。

## 評価懇話会での確認事項

### a. 事後評価手続き等の確認

#### ア. 成果の達成度評価について

事業実施状況、数値指標結果、定性的評価

#### イ. 実施過程の評価について

住民参加プロセスの実施状況

#### ウ. 事業の効果発現要因の整理について

効果発現要因の整理、事後評価原案の公表

### b. 今後のまちづくり方策の確認

#### 今後のまちづくり方策について

今後のまちづくり方策、次期計画への活かし方、フォローアップ計画

## (4) 計画概要

### まちづくりの範囲と課題

#### まちづくりの範囲

- ・市の中心市街地である大網市街地の東側、国道128号と主要地方道山田台大網白里線との交差点北側周辺の約64haの区域

#### まちづくりの課題

- ・国道128号と市立大網東小学校及び農産物直売所のアクセス道路は整備済みであるが、新たに市街化区域に編入した地区の道路は未整備の状況。この道路は市立大網東小学校の主要な通学路となっていることから、**児童が安全に通学できる道路の整備が急務**である。
- ・本地区内には公園や広場がなく、**安全に子供を遊ばせる場所として、地域住民の憩いやコミュニティ活動の場としての公園整備が求められている。**

### まちづくりの目標と指標

#### まちづくりの目標

##### 【大目標】

“安全性・快適性の高い市街地形成により、住みよいまちづくりをめざす”

- (目標1) 安全な区画整理道路整備による快適なまちづくりを推進する。
- (目標2) 街区公園整備により、休息や遊びの場を提供するとともに緑を確保し、生活環境の改善を図る。

#### 事業効果を測る指標

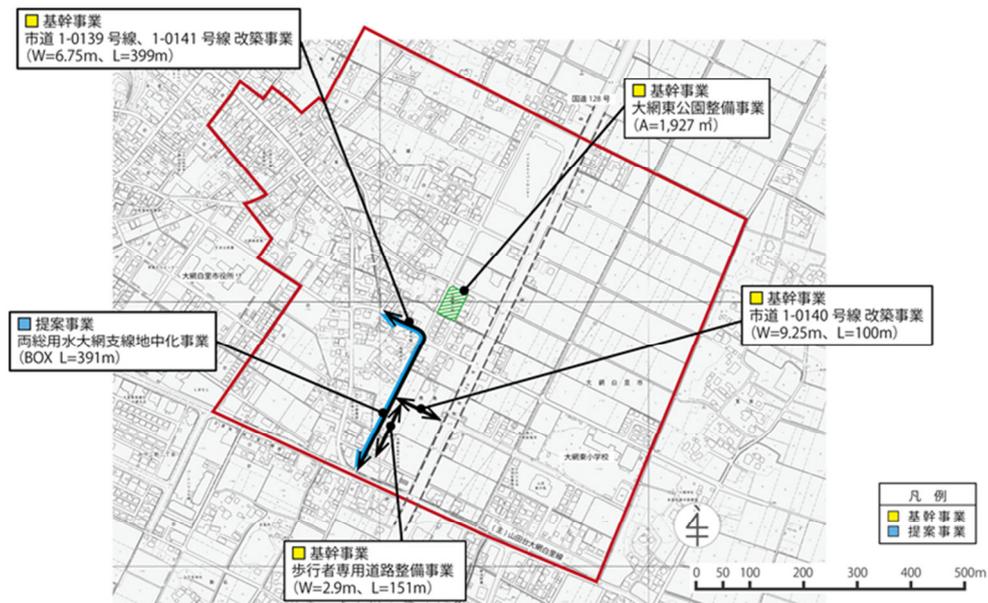
- (指標1) 狭隘道路の改善
- (指標2) 公園利用の満足度

## 数値指標の計測方法、従前値、目標値

指標	単位	定義	計測方法	従前値	目標値
指標1 狭隘道路の改善	%	市街化区域における幅員4m未満の道路延長の割合	地区内の市街化区域における25市道の総延長のうち、「幅員4m以下」の延長が占める割合を算出	50.9 (H20)	43.5 (H25)
指標2 公園利用の満足度	%	公園利用の満足度(住民アンケート)	従前、従後に実施した地域住民(小学校就学前から70歳以上の男女)対象の「大網東公園アンケート」の集計結果による「満足している人」の割合を算出	13 (H20)	20 (H23)

## 大網東地区の計画区域と主要事業

【対象面積】64ha、【交付期間】平成21年度から25年度の5年間、  
【交付対象事業費】2億3千3百万円



## 個別の事業一覧

### 【基幹事業】

事業区分	事業名	事業費(百万円)
道路	歩行者専用道路整備事業	9
道路	市道1-0139号線、1-0141号線 改築事業	55
道路	市道1-0140号線 改築事業	25
公園	大網東公園整備事業	88

### 【提案事業】

事業区分	事業名	事業費(百万円)
地域創造支援事業	両総用水大網支線地中化事業	56

### 【関連事業】

なし

### 【事業概要】歩行者専用道路 (W=2.9m、L=151m)

新たに、安全に歩ける歩行者専用の道路を整備しました。



整備後

**【事業概要】市道1-0139号線、1-0141号線 (W=6.75m、L=399m)**

人も車も安全で安心して通れるよう、両総用水大網支線を地中化して歩行者空間を備えた道路に再整備しました。



**【事業概要】市道1-0140号線 (W=9.25m、L=100m)**

通学や買い物の移動が安全で便利になるよう、道路を拡幅し、歩道も整備しました。



**【事業概要】大網東公園 (A=1,927m<sup>2</sup>)**

整備前のアンケートで要望のあった「大きい広場と遊具で楽しく遊べる公園」等の意見を反映し、芝生広場や休憩所、遊具のある公園を整備しました。



整備後



自治会のみなさんによる清掃や樹木剪定が行われています。

## (5) 事後評価結果の概要

### 数値指標の結果について

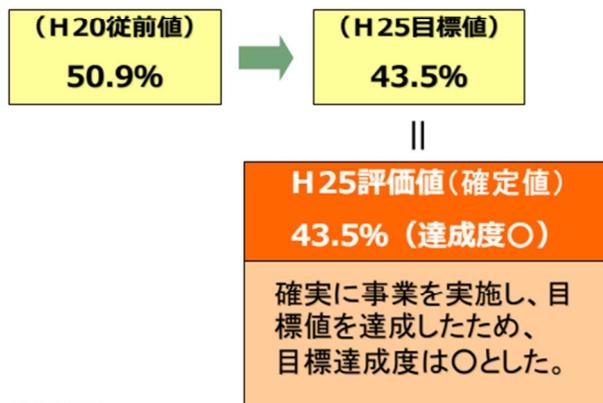
#### ■ 数値指標の結果一覧

	指標	単位	従前値		目標値		評価値		達成度判定
			数値	年度	数値	年度	数値	年度	
1	狭隘道路の改善	%	50.9	H20	43.5	H25	43.5	H25	○
2	公園利用の満足度	%	13.0	H20	20.0	H23	50.0	H23	○

### 指標1: 狭隘道路の改善

(目標1) 安全な区画整理道路整備による快適なまちづくりを推進する。

定義：地区内の市街化区域における25市道の総延長のうち、「幅員4m以下」の延長が占める割合を算出



狭隘率(%)  
 = 市街化区域における整備後の幅員4m以下延長(2260m)  
 ÷ 地区内延長(5190m) = 43.5%

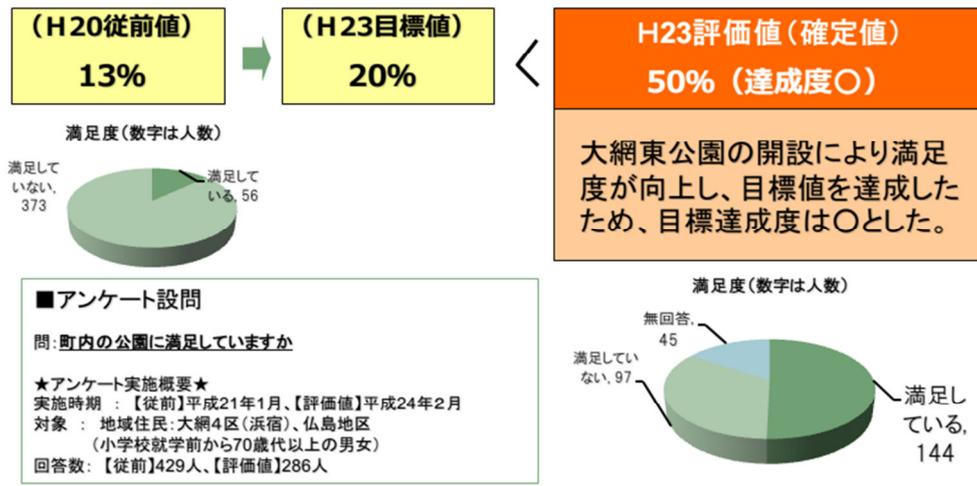
大網東地区 市街化区域  
市道整備状況一覧(単位:m)

市道番号	地区内延長(m)	内幅員4m以下	
		整備前	整備後
1-0154	100	100	100
1-0145	180	0	0
1-0152	360	0	0
1-0150	320	320	320
1-0141	270	0	0
<b>1-0140</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>0</b>
1-0138	160	0	0
<b>1-0139</b>	<b>570</b>	<b>450</b>	<b>170</b>
1-0137	750	0	0
1-0133	180	180	180
1-0135	200	200	200
01-006	180	0	0
1-0136	250	150	150
1-0143	120	120	120
1-0142	130	130	130
1-0149	80	80	80
1-0145	80	0	0
1-0148	180	180	180
1-0147	80	80	80
1-0155	160	160	160
1-0151	200	100	100
1-0151	250	0	0
不明1	130	130	130
不明2	100	100	100
不明3	60	60	60
<b>計</b>	<b>5,190</b>	<b>2,640</b>	<b>2,260</b>

## 指標2:公園利用の満足度

(目標2) 街区公園整備により、休息や遊びの場を提供するとともに緑を確保し、生活環境の改善を図る。

定義：公園利用の満足度（住民アンケート）



## 定量的に表現できない「定性的な効果」について

- ・整備後に実施した「大網東公園アンケート」で、大網東公園を利用している人を対象とした設問(「大網東公園」はどのような公園ですか)では、「大きい広場があり利用しやすい公園」、「遊具で子どもが楽しく遊べる公園」と評価する回答が複数あり、効果発現がみられました。
- ・公園で遊んだり、自然による潤いを感じることで、生活環境が向上したという声もあり、効果発現がみられました。

## 事業の効果発現要因の整理①

数値指標の達成及び未達成について、各実施事業がどのように関係し効果を発揮しているか等を整理

### 指標 1 : 狭隘道路の改善

種別	事業名	貢献度	総合所見
基幹事業	①歩行者専用道路整備事業(道路)	◎	道路改築事業による生活道路の環境改善や緊急車両の通行が可能になったこと、歩行者専用道路整備による通学路の確保、で地区内の安全性が高まった。
	②市道1-0139号線、1-0141号線 改築事業(道路)	◎	
	③市道1-0140号線 改築事業(道路)	◎	
	④大網東公園整備事業(公園)	—	
提案事業	③両総用水大網支線地中化事業(地域創造支援事業)	◎	
関連事業	なし		

- ◎: 指標改善に直接的に関係
- : 指標改善に間接的に関係
- △: 効果を期待したが、指標改善に貢献しなかった
- : 関係しない

## 事業の効果発現要因の整理②

数値指標の達成及び未達成について、各実施事業がどのように関係し効果を発揮しているか等を整理

### 指標 2 : 公園利用の満足度

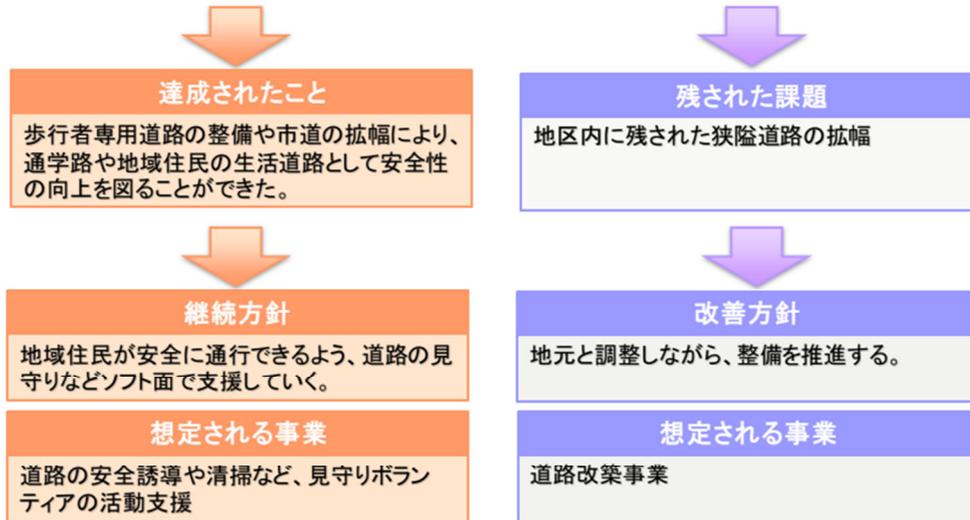
種別	事業名	貢献度	総合所見
基幹事業	①歩行者専用道路整備事業(道路)	—	公園の整備によって身近で安全な子供たちの遊び場やコミュニティの場の不足を改善し、地域住民の居住環境向上に寄与した。
	②市道1-0139号線、1-0141号線 改築事業(道路)	○	
	③市道1-0140号線 改築事業(道路)	—	
	④大網東公園整備事業(公園)	◎	
提案事業	③両総用水大網支線地中化事業(地域創造支援事業)	—	
関連事業	なし		

- ◎: 指標改善に直接的に関係
- : 指標改善に間接的に関係
- △: 効果を期待したが、指標改善に貢献しなかった
- : 関係しない

## 今後のまちづくり方策について①

事業前の課題が事業の実施によりどのように変化したかをまとめた

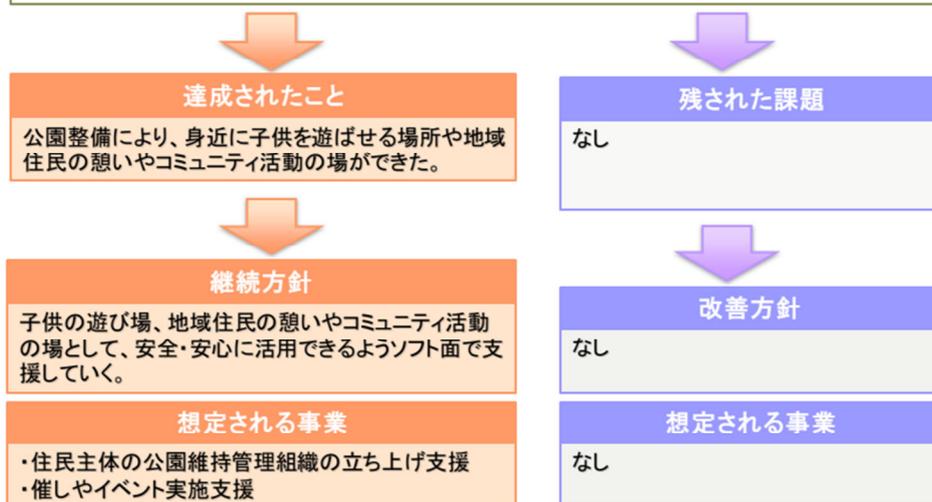
課題1：新たに市街化区域に編入した地区の道路が未整備であり、通学路になっていることから、児童が安全に通学できる道路の整備が急務である。



## 今後のまちづくり方策について②

事業前の課題が事業の実施によりどのように変化したかをまとめた

課題2：地区内で安全に子供を遊ばせる場所や地域住民の憩いやコミュニティ活動の場がない。



## 次期計画への活かし方

今回のまちづくりの進捗管理について評価し、今後の他地区のまちづくりに活かせる事項についてまとめている。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	住民の方の満足度を明確な数値目標にしたため、住民にとって成果の達成がわかりやすい。	アンケート設計では、質問項目を明確にし、回答者にわかりやすく伝えるよう努める。
	うまくいかなかった点	-	-
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	従前に地域住民を対象とした公園アンケートを実施したことで、住民の意向を早い段階で把握することができ、整備計画につなげることができた。	公園整備等では、アンケートやワークショップ手法を用いるなど住民の関わり方について工夫するよう努める。
	うまくいかなかった点	-	-